

# さくら教室だより

カラー版は九小のHPで公開しています。



令和6年5月13日  
東久留米市立第九小学校  
校長 山本 真美枝  
特別支援教室 担任



## 指導が始まり、1か月が経ちました



さくら教室の指導が始まり、1か月が経ちました。子どもたちは、新しい先生や友達との関わりの中で、学習を頑張っています。今年は4月の終わりごろから夏日が何日かありました。また暑い年になりそうです。子どもたちは元気に外遊びをしています。汗を拭くなどの清潔意識をしっかりとらせていきたいです。自分の体調をしっかり管理する力や、適切な衣服の着脱なども指導していければと思います。ご家庭でもご指導をしていただきたく思います。



### <個人面談のお知らせ>



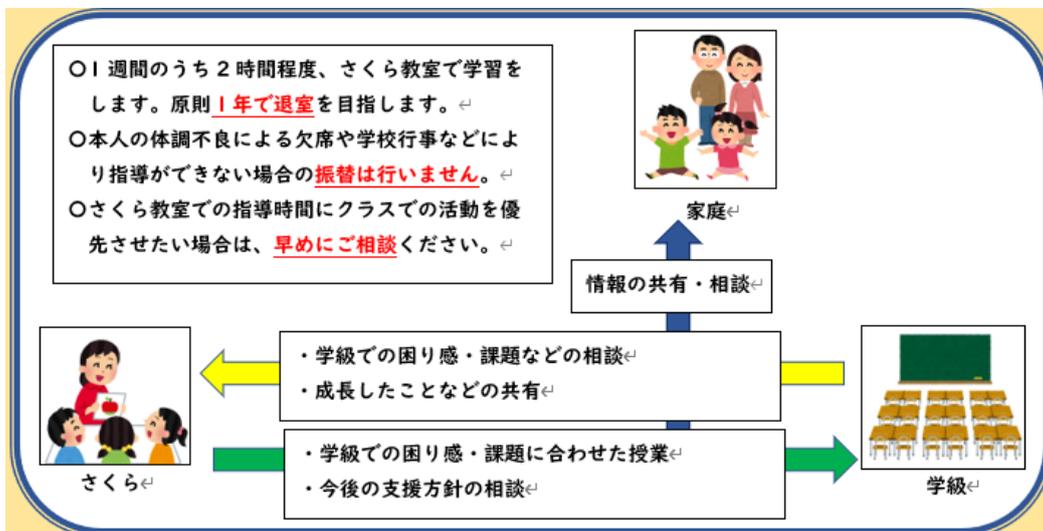
来月から、さくら教室の個人面談が始まります。日程調整のアンケートも近日配布いたしますので、可能な時間に印をつけてください。ご多用とは思いますが、書類の確認もありますので、ご出席よろしくをお願いします。面談の際に【前期の連携型個別指導計画】の目標をご相談します。

#### 【昨年度との変更点】

保護者会資料にも書きましたが、今年度から、さくら教室の面談に担任の出席は原則としてありません。各校共に、在籍学級の面談が6月下旬や夏休み初頭にあるため、話す内容が重複することが多いことが理由です。もしも担任も同席をご希望される場合は、ご相談ください。



### ○担任の先生とはこのように連携をとっています



原則として、個別・小集団両方の授業が終わった日の放課後に青ファイルを見ながら、担任の先生と児童の様子や成長・課題を話し合っています。

児童の退室において学級・さくら双方で具体的なイメージを共有し、個に応じた指導や支援を充実させていきます。

# 【さくら教室のちょこっとコラム】



## ○特別支援教育のイメージ

特別支援教育と教科学習には、どんな違いがあるのでしょうか？

人の数だけその答えはあると思いますが、大まかなイメージとして、「こんな違いがあるかな？」という考え方を紹介します。

教科学習のイメージ



学習の目標に向かって、決められた期間で引っ張り上げていくイメージ。

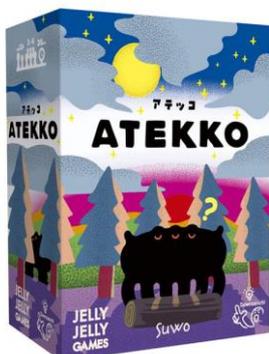
特別支援教育のイメージ



できることを積み上げたり、苦手な部分を補強していったりするイメージ。

どちらに優劣があるというわけでは全くなく、2種類の学習を行ったり来たりしながら、児童の本来持っている能力を最大限発揮できるようにしていくことが大事ですね。学級と特別支援教室の学習はそれぞれお互いを補い合うような関係です。さくら教室でそれぞれの児童の特性に合ったオーダーメイドの授業を実施しながら、在籍する学級でより過ごしやすくなるよう支援することを一番大切に考えています。

## ○こんな教材を使っています



### ATEKKO (アテッコ)

小さなホワイトボードに書かれた答えを見えない状態にして、自分のホワイトボードに書かれた答えを予想するゲーム。他の人には「はい・いいえ」でしか答えられない質問をすることができるので、質問力がものをいいます。【質問をする力】、【耳で聞いた情報を頭の中で統合する力】、【イメージする力】を育むために使っています。